

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3290800030		
法人名	堀建設 株式会社		
事業所名	グループホーム 悠心彩・中西		
所在地	島根県益田市市原町イ434-1		
自己評価作成日	令和1年11月16日	評価結果市町村受理日	令和2年9月29日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 2/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=32

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPOLまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白濁本町43番地		
訪問調査日	令和2年8月6日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所の理念として「地域の中の大家族として、支えあえる町づくりを目指し、健やかに・穏やかに・にこやかに・寄り添い・敬いあいながら、その人らしく」を掲げ、職員一同努めております。地域やご家族との交流も可能な限り参加させて頂き交流を深めております。又、前年度よりご家族様と一緒にモニタリングを行い、毎月意見・要望をお聞きしておりましたが、ご家族様との関わりを深める為、ご家族様・担当職員・ケアマネージャーを交え、意見交換をし、ご本人やご家族様の意向に沿ったケアプラン作成が出来る様、力を入れております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

利用者の今迄の生活の継続に努め、毎月家族と意見交換する場を持ち利用者、家族の意向に沿った介護計画を作成し支援につなげています。地域の総会や行事に参加して事業所の理解を深めたり、小学生、中学生との交流では事前には介護、認知症、グループホームを理解するためにわかりやすい説明書を作り伝えている。閉塞感のない開けた事業所として、地域の中で大家族が生活を支えあっている事業所として、「最善のケアサービスとは何か」を模索しながら利用者、職員が毎日楽しく過ごせるように支援に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	施設の理念はスタッフ全員が見れる様にホール2カ所に掲示しており、今年も継続して朝礼時に声に出して復唱し意識を高めている	毎朝唱和し利用者に敬意をもって笑顔でこやかに寄り添う事が出来る様に、利用者主体のケアに取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で毎年行われている盆踊りや文化祭など、地域との交流を計りながら保育園・小中学校との交流も継続しつつ、ボランティアとの交流も行っている	敬老会には地域の人を招いて交流し楽しんでいる。空港マラソンの応援、小学生、保育園児との交流は利用者にとって楽しみで普段とはまた違う笑顔が見られる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の高齢者行事に参加を促したり、地域の総会に出向き施設の活動や認知症について説明させて頂き理解を深めて頂いている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議前には事前にテーマをお知らせし内容を深めている。また、順次ご家族様へは運営推進会議への参加に協力を頂いている。ご家族様からの意見はスタッフ研修で全員に伝えケアの確認を行っている	利用者の状況や活動、身体拘束廃止への取り組み、家族会報告などを行い、提案や意見をサービスに活かしている。内容は誰でも見る事が出来る様に玄関に提示している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加頂き、事業所の活動状況については報告させて頂いている。また、他の事業所の取り組みや動向についてもアドバイスを頂き、お互いの協力関係を築いている	日頃から情報提供を行い相談をしたり災害対策のアドバイスを貰う等、協力関係を築き取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会を3ヶ月に1回行い、スタッフ研修等で周知・報告し話し合いを行っている	身体拘束自己点検表に基づいて3ヶ月に1回スタッフ研修で確認をしている。「一人ひとりの残存能力を活かして日常生活を送るにはどんな支援が必要か」を常に考慮して身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に虐待防止に向けて研修を実施している。毎月1回接遇の反省も行いながらケアの振り返りを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度について研修を行い学ぶ機会を設けている。自立支援についても研修を行い、実践し随時職員間での話し合いを行っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に面談を行いご家族の不安や疑問に対応している。契約時は時間をかけゆつくりと説明を行っている。又、改定等の際も文章を配布し同意を得ている。それ以外にもご家族からの要望や希望を適宜伺っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営状況は運営推進会議を通じて報告し、意見・要望を頂いている。内容については、スタッフ全員に周知し、ケアの改善・見直しに繋げている	面会時、運営推進会議、家族会等で意見、要望を聞き改善出来る事から取り組んでいる。家族会では利用者と一緒に昼飯を食べたりボランティアによる舞踊観賞等をして交流を図っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者・管理者は、毎月のスタッフ研修に参加し、直接スタッフと意見交換を行っている。	日頃から業務改善や利用者のケア等について意見、要望を言しやすい環境づくりに努めている。月1回のスタッフ研修で意見交換をし解決策を話し合い改善出来る事から取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得者を優遇し、給与水準の向上を図り、やりがいのある職場作り、職員にとって働きやすい環境整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部から研修案内があれば各部署へ掲示し、研修を受けられる様、機会を確保している。また、資格取得への配慮も行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	益田市・鹿足郡圏内GH管理者の会議に毎月参加し情報交換を行っている。又、年2回他施設GH職員と研修・グループワークなどを行いお互いの職場での意見交換を行いサービスの質の向上に努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時には様子や雰囲気を知って頂く為に、本人の要望等お聞きしゆっくりと時間をかけて安心して過ごして頂く様、努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを利用する際、家族様へ不安な事・要望等お聞きし応えられる様、信頼関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを利用する際、本人の情報収集を行い、必要としている支援を見極め対応できる様努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中で、その人にあった役割を見つけ、本人と共に過ごし共同生活を送れる様、支援を行っている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の訴えや必要な物を持って来て頂く際には連絡を行っている。面会に来て頂く様、行事等参加を促し、面会時や電話にて今の様子をお伝えし関係を築いている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまでの生活をしてきた地域や馴染みの人について、話を聞いたリドライブ等で近くを通った時等、話をし昔を思い出し地域の関係継続に努めている	本人が以前住んでいた地域にドライブしたり、知人や友人等の面会時にはゆっくり過ごして貰える様に配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士トラブルなく毎日過ごして頂く様、行事やレクリエーションに参加を促し、交流を深めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居により契約終了された方については、転居先に出向き、その後の経過について情報収集を行ったり、必要時には相談支援も行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人からの要望・意向の把握に努めている。困難な場合は家族様の意向も聞きながら支援を行っている	日頃の関わりの中や、話しやすい職員との会話、家族からの情報等から思いの把握に努めている。気づきや感じた事をメモに残し報告・連絡・相談しながら職員間で情報を共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の生活歴・暮らし方・環境の経過等、情報収集を行い、施設内での生活支援に繋げている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ研修などで、ご本人の一日の過ごし方・様子など、情報交換を行い共有し支援に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画やモニタリングについては、月末に担当者がご家族様に連絡。又は、面会時に情報提供を行い、ご家族を含めたケアプランの作成に努めている	利用者、家族の意向に沿うよう担当者が具体的なプランを作成し、毎月家族の意見を聞き現状に即した内容で作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録については、ケアプランの作成に沿って記録を個別に行っている。課題があれば適宜カンファレンスを行い対応している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人・ご家族からの希望があれば、外出や外泊等、柔軟な支援やサービスを行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	中西地区の文化祭や盆踊り等の行事に参加し、楽しんで頂いている。毎年の敬老会には地域の方を招待して、交流を深めて頂ける様に支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回主治医より往診を受けて頂いている。又、必要時、ご家族と相談の上、他の医療機関の受診も支援している	利用者、家族の希望のかかりつけ医を継続している。身体状況に合わせて他の医療機関の受診や家族から依頼があれば同行受診している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常生活の中での情報や気づきを常に看護師に伝え、相談している。緊急時・必要時には、ご家族・医師との連絡調整も行っている。適切な受診や看護を受けられる様に支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には施設内での生活状況について情報提供を行っている。入院中の様子についても情報交換を行い、早期退院に向けて支援している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に看取りの意向を確認している。健康状態に変化があれば、その都度ご家族に報告している。ご家族と重度化や終末期に向けた意向を話し合い、事業所で出来る事を十分に説明し方針を共有し個別に支援している	入居時に重度化した場合や終末期を何処で過ごしたいのかも含めて家族や関係者と話しあい看取りの支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習を2年に1回全職員が受講出来る様に配慮している。AEDを設置し救急対応に備えてえいる。地域の方も使用可能である事を働きかけている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中・夜間を問わず避難・消防・災害訓練を定期的実施している。災害時の訓練では実際に避難所へ全員避難する訓練も行っている。職員への緊急連絡網に関しても一斉にメール連絡が取れる体制を整えている	過去に大雨で避難した経験があり、いつ発生するかもしれないという危機意識を持って取り組んでいる。利用者と共に指定場所に避難したり備蓄品の準備、市から情報を得る等している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎月接遇のアンケートを取り、各自利用者を尊重し、誇りやプライバシーに配慮した言葉使いや対応が出来るか振り返りを行い実践している	利用者の意志や人格を尊重し常に利用者の立場に立った対応が出来るか振り返っている。入浴、排泄支援時は羞恥心に配慮し対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話の中で本人の思いや希望を表される様努めている。日常生活の関わりの中で思いに添った自己決定が出来る様支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の生活パターンに応じて、柔軟な支援を実施している。急なニーズにもゆとりを持って対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみが整えられる様、洗面台近くにブラシ・髭剃り・化粧水等置いて使ってもらっている。好みの服が選ばれる様に配慮した収納にし、希望を聞く様にしている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日献立を読んで頂き楽しんでもらっている。合わせて配膳時も料理説明を行っている。出来る方に関しては机拭き・片付け・食器洗い等を職員と一緒にやっている。手作りおやつも希望を聞き一緒に作っている	献立を読んで貰ったり、片づけ、台拭き等出来ることをして貰っている。誕生会では一緒にケーキの飾りつけをする等楽しめる様にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量・間食等、毎日把握し健康管理を行っている。嚥下咀嚼状態に応じた食事形態に変更し、個別に対応した口腔環境・食事を提供している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々の口腔状態に応じた口腔ケアを行っている。眠前には義歯の消毒・管理の支援を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄リズムを把握し、トイレ誘導を行っている。個々の能力や状態に応じた排泄介助に努めている。日中は出来るだけトイレで排泄出来る様に支援している	利用者に合わせて誘導や声掛けをしている。夜間はトイレに灯りをつけておいたり、貼り紙をし場所がわかるようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便表により排便状況を確認。便秘傾向の方に関しては水分量や食事摂取量に注意している。毎日のリハビリ体操や散歩をし予防に努めている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一人ひとり希望・気分やタイミングに応じ、体調に合わせて支援を行っている。脱衣場も適温に調節し、好みの温度に合わせてながら入浴を楽しんで頂いている	希望に応じた支援が出来る様に体調やタイミングに合わせた支援をしている。毎日の入浴、同性介助等柔軟に対応出来る様になっている。希望のシャンプーや洗顔フォームを使っている利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の温度や照明等、環境整備に努めている。気持ちよく入眠出来る様、寝具の洗濯や干し、換気を行っている。日中いつでも居室・ホールで休息をとられる様に配慮している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬文献綴りにより、各自がどんな薬を処方されているか職員全員が知ることが出来る。服薬の変更及び臨時薬が処方になった場合は看護師より報告・指示があり、スタッフ間でも情報の共有が出来ている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴を理解し、各自に合った出来る事を見つけ支援しています。地域との交流や行事、レクリエーションへの参加を促し、ドライブ等で楽しみ・気分転換が出来る様努めています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気・気温に応じて散歩・日光浴等を楽しんで頂いている。季節感が感じられる様な行事やドライブ、地域のイベントに参加し、地域との交流も含んだ支援を行っている	季節毎の花見、夏の蛍狩り、冬のクリスマスのイルミネーション見学等体調に合わせて出掛けている。現在コロナ感染防止のため、人が密集している場所は避け工夫して支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族様と相談し、ほとんどの入居者様はお金を所持されていない。ご家族が管理のもと、お金の所持は可能		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	誕生日・母の日等に遠方の家族様からプレゼントが届いた時などは、職員が電話をかけご本人とお話して頂いています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・ホールには飾りや壁画などに季節感を取り入れています。又、清掃職員を配置し、施設内が清潔で心地よく過ごせる様、取り組んでいる	清掃職員を配置して環境整備を徹底させ心地良く過ごす事が出来る様に取り組んでいる。季節毎の手作りの壁画、生け花、七夕飾り、クリスマスツリー、正月の飾りつけ等利用者と一緒に飾っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールの席は気の合う方を隣同士にするなどの工夫をしています。一人でゆっくり新聞を読まれたりする方には、ソファや畳で過ごして頂いている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前にご家族より生活の様子をしっかりと聞き、普段の生活に近づける様、居室の配慮を行っている。又、居心地の良さだけでなく安全面にも気を付けて家具など配置している	使い慣れた家具や化粧品、馴染みの物を持参し今迄の生活スタイルが維持出来る様にしている。安全面に配慮し家具の置き場所やハサミ等の刃物の取扱いにも注意している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	可能な方には自身の洗濯物を居室まで持って帰ってもらい、ご本人で整理出来る様タンスにはシールを貼り、自立へ向けた工夫をしています		